

11月の 園便り



「んこんさまに
さしあげ」
そうろう」

2019年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

数十年に一度と言われる災害が、たびたび起こるようになってしまいました。異常気象は、海水温が上がっていることが原因だとか（NHK クローズアップ現代）海水温度の上昇の原因の一つに原発の温排水があるとも聞いたことがあります。グレタ・トゥーンベリさんのスピーチに真剣に耳を傾けなければならないところに来たようです。

さて、大学の体育館で青ばらさんが“なるこ”の練習をするのを見に行った時のことです。“なるこ”の練習が終わると、広い体育館で遊び始めたので、加藤は、子どもたちより一足先に幼稚園に戻りました…しばらくすると、青ばらさんたちが体育館から帰ってきました。すると、てるあき君が一人で職員室の窓をあけて

てるあき君「なるこ、見に来てくれてありがとう！」

加藤「・・・あ、見せてくれてありがとう・・・とても楽しかった！」

意外な言葉に、返事に詰まってしまった私・・・見に行っただけなのに“ありがとう”と言ってもらえるなんて、なんてありがたいことでしょう。

それにしても、こんなふうに“人に感謝する心”は、いつ、どんなふうに育つのでしょうか。児童精神科医の佐々木先生は次のように言われています。

「自分は、大切にされている、自分は守られている、命令指示をされないで、思いっきり好きなことをさせてもらっている、こうして大切にされる経験を日々することによって、この機会を与えてくれる人々に感謝の気持ちを持つのでしょうか。相手が自分を尊重してくれる、そういうことを実際に経験することによって、他者を尊敬する感覚を学んでいくのですが、しかし、こういうことは現代とても少なくなりました」と・・・そして、続けて次のようにも言われています。

「十分に人の痛み苦しみを感じられない保育者には、おそらく、子どもたちに人の痛みを感じる力は育てられないでしょう、これは現代失われつつあることです・・・」

日々の生活の中で、大切にされている・尊重されていると感じる経験があると、感謝する気持ちが育つということですから、私たち保育者が日々の生活の中で、どれだけ、子どもたちの思いを受けとめ、やりたいことを実現させてあげられるかということが、とても大きく影響することを思います。保育者自身の人間性、それ自体が、子どもたちの人格形成に影響を与えるということを考えますと、保育者の在り方の重要性を痛感します。幼児教育は、子どもたちの人間性が形成されるととても重要なもの「人生の後々まで影響する幼児期の教育」この言葉の重さを胸に、保育者の資質向上に努力を続けていきたいと思います。

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	金	○	2:00	白ばらさんは耳鼻科検診があります。
2	土	×	11:30	自由登園日です。
3	日	/	/	文化の日
4	月	/	/	振替休日
5	火	○	2:00	
6	水	○	2:00	
7	木	○	2:00	
8	金	○	2:00	
9	土	/	/	第2土曜日
10	日	/	/	
11	月	○	2:00	
12	火	○	2:00	
13	水	×	11:30	新入園児さんの保護者会があるため、午前保育です。
14	木	○	2:00	
15	金	×	11:30	他園から多くのお客様が参加される青陵幼稚園の研修会を行います。 今年は[子どもたちに大きな影響がある保育者の言葉]がテーマです。
16	土	×	11:30	自由登園日です。
17	日	/	/	
18	月	○	2:00	
19	火	○	2:00	
20	水	×	11:30	誕生会です、11月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう
21	木	○	2:00	
22	金	○	2:00	
23	土	/	/	勤労感謝の日
24	日	/	/	
25	月	○	2:00	
26	火	○	2:00	
27	水	○	2:00	
28	木	○	2:00	
29	金	○	2:00	
30	土	×	11:30	自由登園日です。

今月は行事のため午前保育が多くなっています。どうぞよろしくお願いいたします。